

木山校長のきやまるじゃーなる 11月15日号



秋のオープンハイスクール 本校の印象がUPしたかも・・・？

11月6日(水)と7日(木)秋のオープンハイスクールが行われました。両日合わせて約450人の中学生と約160人の保護者の方々に参加いただきました。中学生の参加者は昨年よりも50人ほど多かったようです。しかも、約7割の中学生は夏のオープンハイスクールにも参加してくれていたようです。加古川南高校への興味関心が高まっていることをうれしく思います。

また、当日の運営についても実行委員会の生徒が中心となって、司会や発表の生徒たちが加古南の魅力や学校生活について、パワーポイ



ント等を使ってわかりやすく説明してくれていたのが、非常に好印象だったと思います。さらに、授業見学では中学生や保護者をグループごとに分かれて案内して説明してくれていました。このような気遣いが本校の印象を高めているのだなあと感心しました。実行委員として運営してくれた生徒、発表してくれた生徒のみなさん、本当にがんばりました。「自信」を持ってください。お疲れ様でした。

カコナン生は将来、どう生きていくのか？

何かの挨拶の冒頭部分で決まり文句のように次のような言葉が言われていますが・・・

「近年、我が国では少子高齢化・地域間格差の進行、AI等の情報技術の進展等が急速に進んでおり、また、国際情勢の不安定化や自然災害の頻発といった変化が激しく予測困難な時代と云われ、生徒たちは今後、こうした時代の困難に立ち向かい、力強く生きていかねばなりません。・・・」

こうした中で、本校では1年次「産業社会と人間」、2年次「総合的な探究の時間」、3年次「課題探究」といった総合学科として特色あるカリキュラムを展開し、生徒が多彩な選択科目やコースの中から興味関心・適性に応じて選択し、主体的な学習に取り組むとともに、様々な体験活動、充実した学校行事、活発な部活動など、個々の生徒が「自分の夢や希望」に向けて頑張ることができる環境を整えております。少し堅苦しい話になりましたが、生徒の皆さん、世の中をよく見てください、人口減少、少子高齢化や自然災害、海外情勢の不安定化をはじめ、最近ではSNSの問題や闇バイトなど、上の決まり文句のとおり、これからの時代も決して明るい話ばかりではないと容易に想像できますね・・・だからこそ、私は生徒の皆さんに「自分が将来どう生きていくのか？」ということを真剣に考えてもらいたいのです。そのための参考とすべく、12月の期末考査が終われば、講演会や各種イベントも予定しています。

本校の校訓「真実・剛毅・知恵」目指して成長してほしいと思います。そのためのキーワードとして『①絆・②自信・③極み』という言葉を意識してほしいのです。いろんな機会を利用して、これから「どう生きるのか」考えていきましょう！



今後の予定

11/21(木)	地域クリーン作戦
11/22(金)	インターンシップ発表会
12/3(水)～12/9(月)	期末考査
12/13(金)	3年芸術鑑賞 2年選挙講座
12/16(月)	人権講演会
12/17(火)	産社講演会
12/18(水)	山中氏(卒業生)講演会

木山校長の
毎月16日更新
きやまるじゃーなる

次号は12/18(水)に更新予定